

専任教員の教育・研究業績

所属 教育学部	職名 教授	氏名 吉美 学	大学院における研究指導担当資格の有無 無			
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日（期間）	概要			
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		平成27年～	学生による授業評価（授業に関するアンケート調査）の各項目の平均点は、4.6（5点満点中）であり、学生から高い評価を得ている。			
2 作成した教科書、教材、参考書		平成29年12月～	教員採用試験対策講座の受講生に、基礎的な法規を学ばせるために教育法規集（Ver.1, Ver2）を作成した。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		平成27年～令和元年	大学の立地する町立小学校の6年生にキャリア教育の一環として大学探検を行っており、小学生に大学の授業を体験させる時間を担当している。（毎年 令和2、3年度は中止）			
熊取町立熊取南小学校の6年生への体験授業		平成28年～	高槻北高等学校の「教志コース」における2年生の出前講座（小学校教員について）を行っている。（毎年）			
4 その他教育活動上特記すべき事項		平成28年2月	岸和田市内の幼稚園・小中学校における研修発表会において、発表内容に対する講評と今後の取り組みに期待する講話をした。			
泉大津市立旭小学校校内研修講師		平成28年9月～平成30年3月	旭小学校における校内研修（授業研究）において、指導案作成から授業研までの指導助言を行った。（年3回）			
貝塚市首席・指導教諭研修会講師		平成30年1月	貝塚市内の小中学校に在籍する首席・指導教諭に対し、今後の学校運営のあり方について講話をした。			
II 研究活動						
著書（単著）						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書（共著・分担執筆）						
題目／書名	著者／編者	初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
中学校における学習評価に関する参考資料	大阪府教育委員会	共同研究につき本人担当部分抽出不能			平成25年7月	
「英語を使うなにわっ子」育成プログラム	大阪府教育委員会	共同研究につき本人担当部分抽出不能			平成25年8月	
スクールカウンセラーと教員がともに取り組む問題解決力育成のためのブックレット 一いじめや暴力行為等の未然防止と解決に向けてー	大阪府教育委員会	共同研究につき本人担当部分抽出不能			平成25年8月	
児童・生徒の問題行動への対応指針案	大阪府教育委員会	共同研究につき本人担当部分抽出不能			平成25年9月	
「ともに学び、ともに育つ」支援教育のさらなる充実のために	大阪府教育委員会	共同研究につき本人担当部分抽出不能			平成26年3月	
原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）						
題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月	
その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）						
区分	題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
実践報告	教員採用試験における学生支援の試み-教育学部1期生を対象として-	共 吉美学・内藤久仁子	大阪体育大学教育学研究	第3巻	p p. 67-76	2019
実践報告	教員採用試験における学生支援の試み II	共 吉美学・内藤久仁子	大阪体育大学教育学研究	第4巻	p p. 109-115	2020
学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	

科学研究費等の取得状況					
科学研究費／その他の助成金／外部資金					
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）
特許					
特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号 国
III 加入学会および社会における活動					
期 間	内 容				
加入学会					
平成29年6月～	日本教師教育学会				
社会的活動					
平成27年4月～	熊取町立南小学校学校協議会 委員（現在まで）				
平成28年1月～平成29年3月	泉南市教育問題審議会 副会長				
平成28年4月～平成31年3月	熊取町教育委員会評価委員会 委員				
平成28年11月～平成29年12月	河内長野市学校教育のあり方検討委員会 副会長				
平成29年8月～	忠岡町教育委員会評価委員会 委員				
IV 管理活動					
期 間	内 容				
委員会活動					
平成27年4月～令和2年3月	教育学部入試委員会				
平成27年4月～	全学教職課程委員会、				
平成27年4月～平成31年3月	全学キャリア支援委員会、全学広報委員会、全学施設検討委員会				
平成27年4月～平成29年3月	教育学部国際・地域交流委員会				
平成28年4月～	教育学部教職課程委員会部会				
平成28年11月、令和2年11月	学長候補者選挙管理委員会、学部長・学科長候補者選挙管理委員会委員長				
平成31年4月～令和2年3月	教育学部カリキュラム委員会				
令和3年4月～	教育学部教務委員会				
特別プロジェクト活動					
平成28年4月～平成31年3月	初等教育教員養成プログラムのあり方に関するプロジェクト（第2グループ） 「体育系大学における小学校教員養成のあり方」				
V クラブ活動の指導業績					
1. 指導クラブ名	部	2. 役職		3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度	選択	① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない			
5. 合宿指導	年間合宿回数：	回	延べ日数：	日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
8. 部員の就職指導への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
9. 年間の引率公式大会名	大 会 名		期 間	場 所	
10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）					
開 催 期 間	大 会 名		成 績	場 所	
VI 賞罰（職務に関する賞罰）					
年 月	受賞等機関名	内 容			備 考